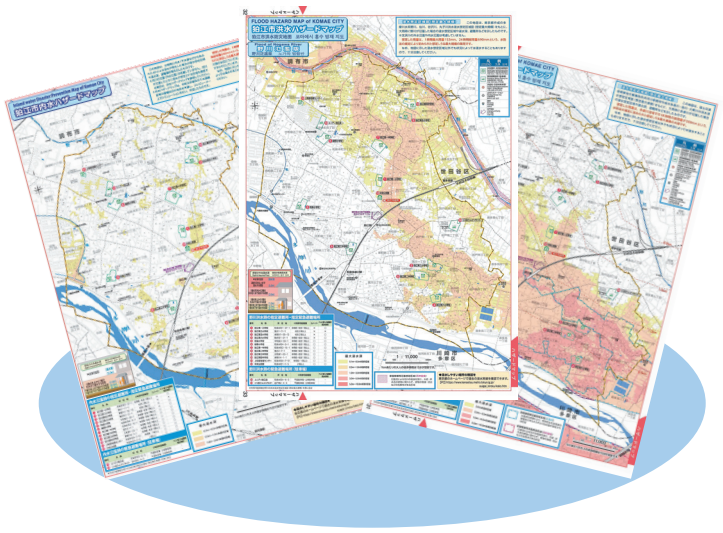
覚えておこう　これまでの安心安全通信は、市ホームページで読むことができます。「狛江市　安心安全通信」で検索！

風水害は予想できます！
いざという時に備えて、ハザードマップを確認しましょう



そもそもハザードマップとは？

災害が起きた際に被害が想定されるエリアや避難する場所を示した地図のことです。狛江市には、洪水ハザードマップ２種類（多摩川氾濫版・野川氾濫版）、内水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ（※東野川４丁目のみ）の計４種類のハザードマップがあります。

自分が住んでいるエリアにどんな危険があるか知っておきましょう！

WEB版ハザードマップも活用しよう！

狛江市ではインターネット上で見ることができるハザードマップも作成しています。WEB版ハザードマップは紙のマップよりも詳細な浸水深を確認することができます。またWEB版だからこそ可能な洪水・内水合成版のマップを確認することもできます。（重複箇所については最大浸水深を表示しています。）

ご自宅周辺の浸水深をチェックしてみましょう！

WEB版ハザードマップはこちら▶

避難の検討

ハザードマップで危険なところと避難所は確認できたからすぐ避難できるぞ

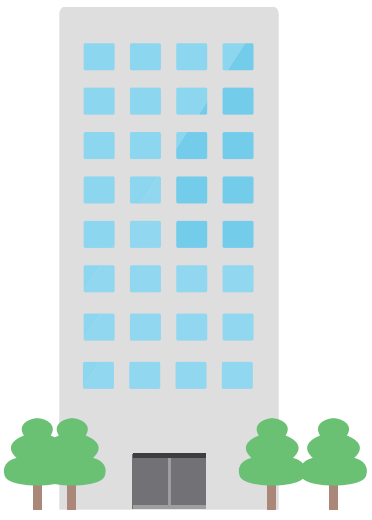
ちょっと待って！避難＝避難所に行くってことじゃないよ

避難所には多くの避難者が押し寄せます。

決して快適な空間にはならず、環境の変化により体調を崩す人もいます。

自宅が危険な状態でなければ、自宅で在宅避難や垂直避難を検討しましょう。

東京とどまるマンションの支援制度



東京都では、災害による停電時でも自宅での生活を継続しやすいマンションを「東京とどまるマンション」として登録・公表し、普及を図っています。

「東京とどまるマンション」に登録している分譲マンションの管理組合や賃貸マンションの所有者等を対象に、簡易トイレやエレベーターに設置する防災キャビネット等の防災備蓄資機材の購入、またマンホールトイレの設置工事への補助を実施しています。

※詳細はHPをご覧ください。

東京とどまるマンション普及促進事業HP

東京とどまるマンションエレベーター閉じ込め防止対策促進事業HP

東京とどまるマンションマンホールトイレ整備促進事業HP

【問合せ】東京都 住宅政策本部 民間住宅部 マンション課 マンション防災力向上支援担当　☎03-5320-5007

やってみて！

楽しくできる災害への備え

東京マイ・タイムラインを使って準備しよう！

マイ・タイムラインとは台風などの風水害時に慌てることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりが事前に決めておくものです。

どんなタイミングで避難の準備を始めるのか、実際に避難するのはどのタイミングか、どんな物を持ち出せば良いのかなど、災害が起こる前に家族や近所の方と話し合って適切な行動を決めておきましょう！

東京マイ・タイムラインについてはこちら▶

VACAN MAPS

パソコンやスマートフォンなどから、避難所の位置や開設・混雑状況を確認することができます。
平常時からお気に入り登録をお願いします。